

WEEKLY REPORT



ロータリー：
変化をもたらす

会長 山 村 義 美 幹事 庄 司 薫 例会 毎週木曜日 12:30~13:30 旅館 エピスヤ
<http://takahata-rc.net> 事務局 山形県高畠町大字高畠 911-2/2F tel 0238-52-5440・fax 0238-52-5444

今日の例会 [2401 th] 2017. 8. 10

ゲストスピーチ

きらやかコンサルティング & パートナース(株)
企業戦略Gr マネージャー **大類 真人氏**

先週の例会 [2400 th] 2017. 8. 3

ゲストスピーチ

公益財団法人 山形県企業振興公社
山形窓口 連携推進員 **漆 山 馨氏**

・点鐘12時30分 山 村 義 美 会 長
・国 家 君 が 代
・ロータリーソング 奉 仕 の 理 想
・ソングリーダー 木 村 健 彦 君
・S A A 若 林 智 次 君

会長あいさつ

山 村 義 美 会 長

みなさん今日は、早いもので会長就任から一ヶ月が経ちました。本日は、8月第一例会ということで本年度初めてのゲストスピーカーをお迎えしての例会です。本日のゲストをご紹介します。

公益社団法人山形県企業振興公社・山形窓口連携推進員 漆 山 馨様です。後程講話をよろしくお願いいたします。

我がクラブ 50 周年記念事業の一つである、青少年育成事業（支援事業）オーストラリア・シングルトン市とのホームステイが7月 31 日高畠を出発しました。シングルトンと高畠町の交流が始まってから 20 年の記念の年だそうです。寒河江町長も訪問してシングルトンで記念の祝賀会も予定されています。私の娘も今から 10 年前、ホームステイに参加させて頂きました。後にシングルトンのお嬢さんが我が家にホームステイにきましたが、食事がとても大変難しかった思い出があります。

その当時の教育長が現在、我がクラブのメンバー

であります、鈴木 征治会員でした。鈴木君はシングルトン事業には最初からご尽力され、現在の基礎をおつくりになった方でございます。

シングルトン一行は、8月 9 日に帰ってくるそうです。楽しい思い出と、この経験したこととでひと回り大きくなって無事に帰って来てほしいです。

スマイルBOX

・お忙しい中、漆山さんにご講演をお願い致しました。よろしくお願い致します。

根津 貞雄 君

・名古屋に嫁いだ娘に子供が生まれ、孫の顔を見に行ってきました。

皆川 賢治 君

・例会が2400回を迎えました。

山村 義美 君

・インターハイ陸上の審判員をしてきました。金の卵が沢山いました。

高梨 恭行 君

《会長の時間》

・8月11日～16日まで事務局が盆休みとなります。そこで、例会の出欠届けを2周分ご案内致します。FAXやホームページの出欠フォームにてご連絡願います。<http://takahata-rc.net>

《幹事報告》

庄 司 薫 幹事

・前にご講演をいただいた「With 優」の白石さんが8月4日にNHKのドキュメンタリーにご出演なさるとのことです。ご連絡を頂きました。

《青木道春君》

・高畠ロータリークラブのホームページが出来上がりました。ホームページ上の出欠フォームから例会の出欠の連絡が出来ますので、ご活用下さい。

ゲストスピーチ

公益財団法人 山形県企業振興公社

山形窓口 連携推進員 **漆 山 馨氏**

(1) 事業の概要

- ・山形県よろず支援拠点事業について
- ・山形県企業振興公社事業について

(2) 具体的な支援事例紹介

- 1) 日本農販サポートセンター企業組合（酒田市）
 - ・支援チーム：県中小企業団体中央会、酒田市産業支援センター、県企業振興公社（県よろず支援拠点）
 - ・支援の内容：中央会主導により「企業組合」を設立し「山の芋」の栽培とそれを活用した商品開発、販路の確保を目指した。同組合の池田代表は創業経験はなかったので、事業計画の策定をよろず支援コーディネーターを中心に支援した。東北公益文科大学の学生も本事業に参画したいという人が何人か名乗りを上げた。キーワードは「楽な農業を目指そう」「暑い日中は昼寝をしよう」だった。初年度は予想以上の収穫・売上げであった。酒田市も動き、遊休市有地を格安で貸してもらえるようになるなど、若者の情熱が周囲を動かした好事例といえる。
- 2) (有)オーチャードタケダ（天童市）
 - ・支援チーム：天童商工会議所、県よろず支援拠点
 - ・支援の内容：同社の武田代表はさくらんぼ、りんごなどの果樹生産のほか農産加工品を販売していた。直販は好調であったが、ネットでの売上げが殆ど上がっていない状況であった。よろず支援拠点のCOにより自社HPを見直したところ、ネット販売が大幅に増加した。
- 3) 双美モータース(株)（ふくの湯）（尾花沢市）
 - ・支援チーム：県内の某銀行、よろず支援拠点
 - ・支援の内容：自動車整備業を営んでいる五十嵐社長が同社に隣接する土地にボーリング掘削をし

《出席報告》

会員数 49名 出席者数 24名 出席率 48.98 %
前回修正 出席者数 33名 出席率 67.35 %

《メイクアップ》

大浦 英祐 君・杉森 文昭 君・吉田 弘二 君
高橋 正人 君・大河原 章 君・鈴木 司郎 君
戸田 英夫 君・高梨 恭行 君・大浦 英樹 君



たところ、温泉が湧き出したので、日帰り温泉施設を建設したいとの相談がよろずにあり、資金面、事業計画策定などを支援し、ついに平成28年3月開業した。異業種への事業展開支援の一例。

(3) その他の支援事例

○M社（上市市）

- ・支援チーム：よろず、事業引継ぎセンター、上山商工会
- ・支援の内容：同社は農業資材を扱う商社だが創業者から二代目へのバトンタッチ（事業承継）が課題であった。事業を継承するにあたっての諸問題をそれぞれ分担して支援した。公社主催の後継者育成塾への受講も勧めた。

○T旅館

- ・支援：よろず
- ・支援の内容：旅館への宿泊客が減り、厳しい経営環境となり、よろずへの支援要請があったため、事業再生計画の作成、銀行交渉によるリスケ計画・返済計画の作成など支援。現在も進行形。

○S工業

- ・支援：よろず
- ・本業はプレス部品製造業だが、社長の娘のために新たに同社空き工場にペットホテル、ドッグラン施設を作り営業をしているが赤字続きのため支援要請があった。まずは魅力に乏しいパンフレットだったのでリニューアルするとともに暗いイメージの同施設を明るく演出することを提案。現在も進行形。

まとめ

○困ったときのよろず、困らなくてもよろず、よろずは常に寄り添い伴走することをミッションに国が設置。使わない手はない。

次週の例会 [2402 th] 2017. 8. 17

ゲストスピーチ

JR東日本ホテルズ フォルクローロ高畠

副支配人 **安 藤 慶 一 氏**